



▲ドクターヘリ

問 ドクターヘリの運用は確実に実績が上がっていると聞いているが、利用料金は。

市長 ヘリコプターの運行経費は傷病者の方の負担はありませんが、医師による初診料などの診療費及び実際に使った薬剤などの治療費の負担はあると聞いています。傷病者がドクターヘリに収容後、日本医科大学附属千葉北総病院以外の医療機関に収容された場合は、ドクターヘリの医療機関である千葉北総病院及び収容先の医療機関の両方からの診療費等が請求されます。

◆幼小中高連携教育全国公開研究会について

問 研究会の規模を伺う。(予算規模や参加人数等)

教育長 今年11月12日の金曜日に予定している幼小中高連携教育全国公開の事業費として、9月補正予算に220万円を計上しました。参加人数は、八街市民のための公開研究会であるため、市民の約1割、7千名の方々にお出でいただければと考えています。

また、市外の学校関係者は、1千名を目標に最低でも500名の参加を目標として

しています。

今後、本事業をさらに充実・発展させ、八街市の人づくりの教育が確かなものであることを全国に発信していきたいと考えています。

問 一般市民へのPRが足りないのではないかと。

教育長 本事業に後援をいただいていますロータリークラブ、ライオンズクラブ、グリーンライオンズクラブ等、関係団体と連絡をとり、さらに広報活動に力を入れます。

◆市民サービスの向上について

問 日曜開庁の反応は。

市長 7月25日にスタートした毎月の最終日曜日における証明関係等窓口業務の実績は、市民税課の証明書交付等で33件、市民税課の証明書交付等で11件、合計44件、納税相談時に市民税課で納付者数10人、納付額22万8千200円、国保年金課で納付者数14人、納付額156万4千900円、次の8月29日は市民税の証明書交付等で42件、市民税課の証明書交付等で12件、合計54件、納税相談時に市民税課で納付者数17人、納

付額44万2千700円、国保年金課で納付者数15人、納付額73万8千300円でした。

問 印鑑証明や住民票の自動交付機の利用状況は。

市長 自動交付機は、平成9年1月7日より稼働を始めた。平日及び土曜日に利用することができ、住民票の写し、印鑑登録証明書の自動交付が受けられます。9年度当初の交付件数は、年間約1万7千件でその後、毎年2千件増加し、15年度の自動交付機からの交付件数は2万6千163件で、住民票の写しは8千812件、窓口を含めた全体の17・6%、印鑑証明書は1万7千351件、窓口を含めた全体の40・5%、うち土曜日の利用件数は944件、1日平均20件の交付です。また、6月6日の日曜日から自動交付機の稼働を実施しましたが、その利用は1日平均12件の交付状況です。土曜・日曜日に市民の方々が多く利用されるようにさらに周知を図るとともに、窓口の混雑緩和と市民サービスの充実に努めます。

古場 正春

◆砂ほこり公害

問 具体的にどの様な方法で地権者をお願いしているのか。

経済環境部長 緑肥種子の配布は、農家組合連合会を通じて各農家の希望を取り希望者全員に種子引換券を渡し、引換券に基づいた金額を市で負担しています。

◆政治姿勢・経費削減(人件費・車両費・交際費・委託費)・市長交際費見直し

問 一個人団体の祝賀会に公務として参加し交際費から祝儀を渡す事について市民の方々の税金を使う事を正しいとお考えなのか。また、交際費の詳細を公開できないか。

市長 各種団体やグループ等の活動や総会時に公務として出席した際、予算範囲内で支出しているもので妥当なものと考えています。また、交際費詳細を公開する事は、本年6月議会の一一般質問を含め何度も答弁したとおりです。

◆収入役の見直し

問 庁内コンピューターにオンライン銀行管理が行き届いている現在収入役の見直し、また、今後の必要性は。

市長 収入役を置く事は地方自治法第168条に定められており、本年10月からは人口10万人以下の市においても現行の市町村と同じく収入役を置かず兼務する事が認められましたので、もつと真剣に勉強します。

◆職員の職務見直し

問 コンピューターの発達に伴い現在の各課人員数の必要性があるのか。また、職員の職務態度(職務中に新聞等読む姿)について職員の職務管理はどうなのか、尚、各課業務量に対して適切な人員数の確保を行う事により委託している庁内清掃等に人員移動でき委託費の節約につながると考えるが、考えを伺う。

市長 地方分権に伴う事務業務の増加や市民からの要望等が多様化している事もあり電算化が必ずしも人員の削減につながるとは限りませんが、定員適正化計画